

令和2年度
事業報告書

社会福祉法人 やながせ福祉会

居宅介護支援事業所

姫路・勝原ホーム居宅介護支援事業所

令和2年度 事業計画

<p>目 標</p>	<p>PDCAサイクルをもとに対人援助を含むケアマネジメント過程を見直し、より利用者ニーズに応じた居宅サービス計画書を作成していくことで、契約件数の維持を図る。</p>
<p>理 由</p>	<p>昨今、心身状態にあわせたあてがいの居宅サービスの調整よりも、心身機能の低下が観られても利用者と家族が望む生活をニーズとして把握し、介護保険制度などのフォーマルサービスと民間活力によるインフォーマルサポートを交えたマネジメント並びに居宅サービス計画書の作成のあり方が問われているため。</p> <p>また、意識不足から見立てを誤ると苦情につながったケースがあることも踏まえ、ケアマネジメントや相談に関するマニュアルについて、PDCAサイクルをもとに見直し、1つひとつの関わりなど過程を大切にした相談援助を行っていききたいため。</p>
<p>具体的対応策</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ケアマネジメントに関するマニュアルの見直しを行う。 2. 円滑なケアマネジメント業務を行うため、対人援助技術に関する研修を企画し、実行する。 3. 月例会議にて、接遇やリスクマネジメントに関する研修も行い、スキルアップを図るとともに苦情や事故が生じた時には、事業所内で情報を共通し、一丸となって対応することで、信頼回復に努める。

令和2年度 事業報告

事業報告	<p>地域包括支援センターと連携し、社会資源や地域活動の情報収集を行った。また、各居宅サービス事業所に出向き、最新情報の収集を行った。</p> <p>毎週火曜日に開催している定期会議にて、収集した地域にある社会資源やインフォーマルサポートなどの情報を発信し、意見交換を行っていることで情報を共有し、共通認識を図っている。</p> <p>インフォーマルサポートを位置づけたケアプランについては、適切な内容になっているかどうかを確認するための事例検討会を年5回開催し、出席者で話し合い、内容に関する助言していることで、互いに意識を高めている。あわせて、利用者本位のケアマネジメントが展開しやすい体制を整えるため、他法人との勉強会の開催も行った。</p>
事業運営総括	<p>新規の作成依頼が多く、要介護、介護予防の利用者ともに契約件数は増加している。その背景として、病院からの紹介や以前の関わりから声をかけてくださる方が多かったことがあげられる。特に近隣の総合病院などから退院時の紹介が増えているため、今後も医療機関や地域連携室との良好な協力体制を継続していきたい。</p> <p>毎週火曜日の定期会議にて、事例検討会を行っていることでケアマネジメント力は向上している。また、会議の中で新規や困難事例を通じて、利用者や家族との関係性を含め、ケアマネジメントのあり方に関する内容を話し合い、互いに理解を深めていることで、情報共有と共通認識はかなっている。</p> <p>加えて、緊急事態時などに利用者に不利益が生じないように、事業所内での協力体制を整えることもできたので、次年度は、ケアマネジメントや相談に関するマニュアルについて、PDCAサイクルをもとに見直し、一つひとつの関わりなど過程を大切にした相談援助を行っていきたい。</p>

要介護度の状況 《平均要介護度 1.85》

令和3年3月31日 現在

	人数	割合
要支援1	19	10%
要支援2	15	8%
事業対象者	0	0%
予防計	34	18%
要介護1	83	44%
要介護2	32	17%
要介護3	22	11%
要介護4	15	8%
要介護5	4	2%
介護計	156	82%
合計	190	100%

新規契約者数

令和2年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	4	6	7	4	7	6	8	7	3	3	5	6	66

利用者数

令和2年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1・2	28	33	35	39	37	35	33	35	30	32	34	34	405
プラン数	147	148	149	151	154	153	157	159	155	157	155	156	1,841
合計	175	181	184	190	191	188	190	194	185	189	189	190	2,246

要介護認定調査数

令和2年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
居宅	0	0	0	1	1	0	1	1	1	1	1	1	8
特養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	1	1	0	1	1	1	1	1	1	8

職員間の内部研修の実施状況 (令和2年度)

研修名	研修内容	参加職種	参加人数	期間	講師(職・氏名)
基本理念・接遇研修	法人理念・サービスの心得・接遇・個人情報保護についての取り扱いについて	常勤職員	49名	4月1日	事務長
認知症研修	認知症予防と対策について	全職種	76名	4/20 (資料配布)	認知症委員会
食中毒予防研修	食中毒、食品衛生管理の3原則、手洗いについて	全職種	78名	5/18 (資料配布)	栄養委員会
感染症予防研修	新型コロナウイルス感染症対策について	全職員	67名	6/23 (資料配布)	感染・衛生委員会
生活習慣病基礎研修	健康診断後の対応について	全職員	90名	7/20 (資料配布)	医療的ケア安全対策委員会
リスクマネジメント研修	前年度の事故報告書集計、KYT(危険予知トレーニング)について	全職種	29名	8/17 (資料配布)	リスク管理委員会
介護技術研修	介護の現場で必要な介護技術の基本について	介護員	92名	9/14 (資料配布)	介護向上委員会
褥瘡・拘縮予防研修	褥瘡予防のポイントについて	全職種	75名	10/19 (資料配布)	褥瘡・拘縮予防委員会
社会資源研修	高齢者見守り・SOSネットワーク事業について	全職種	70名	11/16 (資料配布)	在宅サービス委員会①
安全対策研修	利用者の所在が分からない場合の対応手順について	全職種	98名	12/14 (資料配布)	安全対策委員会
身体拘束・虐待廃止研修	身体拘束・虐待廃止に向けての基本方針、認知度調査(自己点検シート)について	介護職	98名	12/14 (資料配布)	身体拘束・虐待廃止委員会
在宅サービス研修	居宅療養管理指導について	全職種	98名	1/18 (資料配布)	在宅サービス委員会②
身体拘束・虐待廃止研修	身体拘束に関する認知度調査に関する回答及び説明について	全職種	98名	2/22 (資料配布)	身体拘束・虐待廃止委員会
リスクマネジメント研修	事故報告書、ヒヤリ・ハット報告書の集計及び書き方について	全職種	98名	3/23 (資料配布)	リスク管理委員会

参加職員は併設事業所も含む。

職員間の法人内部研修の実施状況 (令和2年度)

研修名	研修内容	参加職種	参加人数	期間	講師(職・氏名)
マネジメント能力向上研修	チームリーダーの自己管理について	介護主任 生活相談員	4名	10月6日	株式会社ニッソーネット 教務主任 青野桂子氏
マネジメント能力向上研修	福祉サービスの基本理念・倫理観について	介護主任 生活相談員	4名	10月12日	株式会社ニッソーネット 教務主任 青野桂子氏
マネジメント能力向上研修	メンバーシップ・リーダーシップについて	介護主任 生活相談員	4名	10月26日	株式会社ニッソーネット 教務主任 青野桂子氏

施設外研修 (令和2年度)

研 修 名	研 修 内 容	参 加 職 種	参 加 人 員	日 付	期 間	場 所	研修結果の報告方法
第1回網干ブロック研修	ケアマネジャーの倫理について	介護支援専門員	5名	7月21日	1日間	網干保健福祉サービスセンター	口頭・復命
第2回網干ブロック研修	感染症について	介護支援専門員	5名	9月12日	1日間	網干保健福祉サービスセンター	口頭・復命
第3回網干ブロック研修	身体的な課題が中心の2事例(医療職、専門職を交えて自立支援、重症化予防)検討会について	介護支援専門員	1名	12月11日	1日間	網干保健福祉サービスセンター	口頭・復命
第4回網干ブロック研修	自立支援の考え方について	介護支援専門員	1名	3月9日	1日間	網干保健福祉サービスセンター	口頭・復命

苦情対応

発生日	苦情内容	解決方法
令和2年 10月27日	「引き継ぎについて」 利用者から電話連絡を受けた時に担当介護支援専門員が不在だったため、戻りしだい折り返し連絡すると伝えていたところ、メモを貼り忘れたことで、利用者から「連絡がなく、どうなっているのか」との申し出がある。	①連絡を受けた後の引き継ぎ体制に不備があったことを陳謝する。 ②連絡を受けた時点でメモを取り、担当介護支援専門員に引き継ぐことの徹底を図っていくことを説明すると理解が得られた。

事故対応

令和2年度 なし